

5 生涯学習推進体制づくり

県の生涯学習施策については、学校教育、家庭教育、社会教育を担う教育委員会、環境、防災、職業能力の向上、社会福祉などを実施する知事部局が、市町村、学校、大学等高等教育機関、企業等と連携・協働しながら、総合的かつ効率的に推進していくことが必要です。そのため、生涯学習推進本部を中心に各種施策の調整を十分図り、効果的な施策の展開に努めます。

また、ICTの進展に対応した生涯学習情報システムの整備など情報提供機能の向上を図るとともに、学習成果の活用機会や学習方法等に関する県民の多様な相談ニーズに応えられる相談体制を充実します。

さらに、地域課題の解決、地域の絆づくりなどに重要な役割を担う専門的人材、地域づくりの中心となる各種団体の育成に力を注ぐとともに、県内の生涯学習の実施状況や生涯学習の提供方法などについて調査・研究を進めます。

加えて、生涯学習推進センターをはじめとする生涯学習関連施設の充実に努め、県民の利用促進、関係機関・団体との連携・協働の推進などを図ります。

(1) 生涯学習推進体制の充実

【現状と課題】

- 生涯学習関連施策を総合的かつ効果的に推進するため、県の関係部局による横断的な組織として、知事を本部長とする愛知県生涯学習推進本部を平成7年に設置し、全庁的な取組体制のもとに生涯学習施策を推進してきました。また、平成24年度には、愛知県生涯学習審議会のもとに社会教育分科会を設置し、生涯学習と社会教育が相互に緊密な連携をもって推進できる体制の構築を図っています。
- しかしながら、社会経済情勢が急速に変化する中で、複雑化・高度化した生涯学習課題に的確に対応するため、生涯学習について関係する部局間の共通理解を深め、より効果的・効率的な施策の展開を図ることが必要です。

【施策の展開】

- 生涯学習推進本部等の開催
 - ・ 生涯学習推進本部及び幹事会を開催し、事務局である教育委員会が中心となって、本計画における施策の進行管理を行いつつ、各関係部局における生涯学習関連施策の企画・立案・実施の各段階において連絡調整を緊密にするなど、より効果的・効率的な施策の推進に努めます。

- ・ 生涯学習審議会及び社会教育分科会を開催し、本計画における家庭を始めとする各主体の取組状況を示すとともに、生涯学習関連施策の総合的な推進に関する意見等を求めていきます。

(2) 学習情報の提供と相談体制の充実

【現状と課題】

- 県や市町村、大学等高等教育機関などの生涯学習機関・団体等が有する生涯学習に関する情報を一元的に提供する生涯学習情報システム「学びネットあいち」を運営するほか、情報誌「まなびいあいち」等による情報提供を行っています。
県民の学習ニーズが高度化・多様化する中、学習者が必要とする学習情報を常に調査・把握し、提供サービスの質・量にわたる充実が求められています。
- また、平成24年7月に実施した県政世論調査の結果によると、学んだ成果を生かすには「まだ活用できるレベルに達していない」と回答した県民の割合が48.4%、学習成果を生かした「活動を行う意欲はあるが、やり方や方法がわからない」が23.4%あり、県民の学びを生かした社会参加、社会貢献を推進するためにも、学習成果を生かす方法や機会など学習者のニーズに応じた専門的な相談体制を充実することが必要です。

【施策の展開】

○ 生涯学習情報システム「学びネットあいち」の充実

「学びネットあいち」については、学習情報を登録するネットワーク機関数とその情報登録件数の増加を図るとともに、より迅速に必要な情報検索が可能となるシステムの改良やソーシャル・ネットワーキング・サービスへの対応など、最新のICT環境にも適応した情報提供機能の向上を図っていきます。

「学びネットあいち」の情報登録内容

- 学習情報件数
11,175件（平成24年11月末現在）
講座講習会、イベント、施設、人材、資格等の情報を提供
- 学習コンテンツ
大学公開講座等の講演録や地域の無形民俗文化財の動画等を提供
- コミュニケーションコーナー
電子掲示板による「まなびの広場」や「学習相談」により学習者の相互交流及び学習相談を推進、「ギャラリー」において学習成果を発表する機会を提供
- ネットワーク機関数
1,421機関（平成24年11月末現在）

○ 生涯学習推進センター情報誌「まなびいあいち」の作成・配布

生涯学習に関する講座・講習会、イベント情報、「学びネットあいち」ネットワーク機関やボランティアとして活動している団体・個人の紹介などの情報を提供する情報誌「まなびいあいち」を発行し、県民への情報提供を行います。

○ 生涯学習に関する相談体制の充実

学校教育を終えてからの学び直しや学習成果のボランティア活動への活用など、県民の多岐にわたる相談ニーズに対応するため、学習プロセスや目的などに応じてきめ細かな助言・案内等ができる体制を充実します。また、中高年に対する学習ガイダンスや、急速に進展するICTを活用した最新の学習技法等の紹介などができるよう、相談員の資質の向上を図ります。

(3) 人材・団体の育成と調査・研究の推進

【現状と課題】

- 社会の抱える課題が多様化・複雑化する中で、人々が学習活動を通じて、地域社会の課題解決に向け、主体的に参加し、一人一人が必要な取組を自ら展開することが重要になっています。また、このような地域住民主体による地域づくりを支えていくためには、絆づくりや地域づくりの中核となって活躍することができる専門的な知識・技能を有する人材や地域づくりを支えている各種団体の育成が求められています。
- 特に地域社会への県民の参加・参画を促進するためには、地域社会の課題を発見し、学習成果をボランティア活動などに生かしたいと考える人々と地域における様々な人的・物的資源とを課題解決に向けて必要としている人々を結びつけることができる実践的なコーディネーターの育成がますます重要になっています。
- 効果的な生涯学習施策を企画するためには、県民の生涯学習ニーズや地域が抱える課題、市町村、大学をはじめ様々な主体による生涯学習関連事業の実施状況等を調査し、生涯学習をめぐる状況を正確に把握することが不可欠です。また、大学など生涯学習に関連する主体との連携・協働方法やICTの進展に対応した学習方法等の研究を進めることも必要です。

【施策の展開】

○ 生涯学習に携わる職員の専門性向上

地域住民主体による地域づくりを支えていくには、市町村において生涯学習に携わっている社会教育主事¹、生涯学習担当者、公民館等社会教育施設職員などの専門的職員が事業の企画や推進、関係機関との調整等を行うための能力を発揮することが必要となります。また、社会教育法において必置となっている社会教育主事の役割は大きく、これらの職員に対し、大学等高等教育機関と連携して、体系的・実践的な講座を提供するなど、その専門性を高める研修事業の充実を図ります。

○ 生涯学習コーディネーターの育成

学習成果を積極的に生かしたいと考えている人々や市町村における生涯学習担当者等に対して、地域づくりや地域課題などに実際に取り組んでいくための実践的な講座を提供し、生涯学習活動の中心的な役割を担う人材を育成します。

○ 地域活動に関する講座の開催

地域活動をこれから行おうとしている人や既に活動を行っている人に対して、社会貢献につながる地域課題解決のための手法や実践的な講座を提供し、生涯学習活動の中心的な役割を担う人材を育成します。

○ 公民館活動等に対する支援

各地の公民館等における特徴的な取組事例の発表、意見交換などができる交流会の開催や、行政だけでなく関係する諸機関との連携・協働による先進的な取組の推進などを支援し、公民館等を中心とする社会教育の活性化を図るとともに、公民館主事等の資質の向上を図ります。

○ 地域で活動する団体に対する支援

地域で活動している団体に、地域課題を解決するための研究・実践事業を委託することにより、行政や他機関との連携・協働を促進するとともに、「新しい公」としての地域における活動を支援します。

○ 生涯学習支援ボランティアの活用

県が実施する指導者養成講座修了者や市町村が推薦する地域で生涯学習活動に取り組んでいる生涯学習支援ボランティアの活動情報を「生涯学習支援ボランティア登録名簿」や「学びネットあいち」へ掲載し、ボランティアの活用に努めます。

¹ 社会教育主事：社会教育法第9条の2の規定により、教育委員会に設置が義務付けられている専門的職員で、社会教育事業の企画・立案を行い、地域住民による学習活動の支援を通じて、人づくりや絆づくり、地域づくりに中核的な役割を担う。

○ 調査・研究の推進

生涯学習支援ボランティアの活動状況、大学等高等教育機関における開放事業実施状況、市町村における学習講座開設状況、県が実施する専門的な指導者養成講座修了生の活動状況などの実態調査を実施します。

また、生涯学習推進における市町村、大学等高等教育機関、生涯学習関連施設等の役割や県民の学習ニーズ、学習方法などに関する調査・研究を行います。

さらに、愛知県の大学コンソーシアムである愛知学長懇話会とも連携し、大学の有する教育資源の活用方法等について研究を進めていきます。

(4) 生涯学習関連施設の充実

① 愛知県生涯学習推進センターの充実

【現状と課題】

- 本県の生涯学習推進のための中核的施設である愛知県生涯学習推進センターは、県民及び市町村への支援策として、学習情報・学習機会の提供、指導者育成、生涯学習ボランティア人材バンクの整備などを行い、生涯学習に関する施策を広域的・専門的に推進しています。

また、愛知県生涯学習推進センターは、コーディネーション機能を一層高めることにより、事業分野に応じて、市町村、学校、大学等高等教育機関、NPO、民間教育事業者、企業等との連携・協働を進め、情報提供、人材育成、学習機会の提供など様々な事業分野で機能充実を図ることが課題となっています。

【施策の展開】

○ 多様な主体との連携

愛知県生涯学習推進センターは、様々な生涯学習関連機関・団体と積極的に連携・協働し、県内に集積する大学の教育資源を活用した社会人のリカレント教育のあり方や学習機会の提供方法の研究、大学・市町村との共同による専門的人材の研修プログラムの開発、NPO等と連携した学習成果の活用機会の提供などの施策を推進します。

○ 生涯学習の課題に対応した推進施策の展開

「長寿社会を豊かに生きる生涯学習」、「家庭と地域の教育力を高める生涯学習」などの課題に応じて、庁内関係部局や市町村、生涯学習関連機関等との連絡調整を行うための体制づくりを進めます。

○ 地域づくり、まちづくりにかかるフォーラムの開催

共に助け合う社会の形成に向けて、地域の絆やコミュニティの重要性が再認識される中で、生涯学習を生かした地域づくりやまちづくりなどについて、個人の学びを発展させながら関係機関の取組の発表を行うフォーラムを開催し、参加者相互のネットワークの構築や様々な地域課題解決の契機とします。

② 愛知県図書館の充実

【現状と課題】

- 愛知県図書館には、約116万冊の蔵書があります。様々な課題に対して自ら判断することが求められる現代社会においては、まず正確な情報を得る必要があり、図書館は、豊富な情報を手軽に入手できる「知の情報拠点」として、正確な情報や資料を提供することが強く求められています。

また、読書による人格形成、人間性の向上や余暇の充実などのためにも、図書館の活動は重要なものとなっています。

【施策の展開】

○ 資料情報センターとしての充実

レファレンスサービス¹をはじめとする図書館サービスや図書、雑誌など様々な媒体による情報の収集、充実を図り、県民の多様な学習活動や課題解決への要望に応えます。

○ 全県域への図書館サービスの提供

全県域で図書館サービスを提供できるように、県内図書館への資料貸出や、職員研修、運営相談に応じるなど、市町村立図書館等のサービス向上を果たすことに努めます。

また、図書館が未設置の町村には、求めに応じて公民館等へまとまった冊数の図書を一定期間貸し出す貸出文庫事業を実施し、県内図書館のサービス充実を図ります。

○ 市町村立図書館と連携した活動の強化

Aichi・LLネット²や県内横断検索「愛蔵くん³」、「県内公共図書館所蔵継続雑誌・新聞総合目録」などの県図書館を中心とした県内公共図書館の情報ネットワークの構築と、物流ネットワークである資料搬送定期便の拡充に努めます。

¹ レファレンスサービス：利用者の問合せに応じたり、参考資料を提供したりする業務

² Aichi・LLネット：愛知県図書館の蔵書の検索や貸出予約ができるオンラインシステム

³ 県内横断検索「愛蔵くん」：インターネットで県内公立図書館等の蔵書検索を一括して行うことができるシステム

③ 愛知県美術館の充実

【現状と課題】

- 愛知県美術館では、約7,700点のコレクションから様々なテーマを設定して、年間で4～5本の企画展を開催しています。しかし、著名な作家の企画展に来館者が集中する傾向があります。このため、未知の美術に対する人々の関心を喚起するとともに、初心者への手引きから専門的なニーズにまで応えるような個々の鑑賞に合わせた学習の機会を提供する必要があります。

また、児童生徒に鑑賞の機会を提供するために、美術館と学校が連携して児童生徒の鑑賞学習の機会を提供する仕組みの構築も求められています。

【施策の展開】

○ 魅力的な企画展テーマの提供

優れた芸術家の回顧や美術動向の紹介、現代美術、古美術、地域の美術といったテーマに加え、特定の世代や性別などに向けたテーマ、地域の文化資源（コレクションなど）を生かすテーマなど、県民にとって魅力的なテーマを設定し、県民の鑑賞学習を促します。

○ 鑑賞学習機会の提供

企画展ごとに記念講演やシンポジウム、新人アーティスト本人による説明会等を開催するとともに、学芸員によるギャラリー・トークをさらに充実していきます。

また、企画展では「鑑賞ガイド」を作成し、コレクション展ではほとんどの作品に解説文が付くように努め、鑑賞者の学習を補助します。

○ 美術館外での作品展示

県内各地での移動美術館やサテライト展示により、県民が美術に接する機会を増やすとともに、より広く美術館への来場を呼び掛けます。

○ 鑑賞学習活動の充実

児童生徒に鑑賞学習の楽しさを理解させるため、学校と連携して子ども鑑賞会の実施や鑑賞ガイド等の作成など、児童生徒のニーズに合った事業を展開するとともに、教員の資質向上を図るため、教員向けに鑑賞学習に関する研修会を実施します。

○ 障害を持った児童生徒への鑑賞学習機会の提供

視覚に障害を有する児童生徒に対して、鑑賞の環境を整備し、鑑賞学習の機

会を提供します。

④ 愛知県陶磁資料館の充実

【現状と課題】

- 愛知県陶磁資料館は、陶磁文化の普及・向上に向け各種の展示活動を行うとともに、展示関連の講演会等の開催や陶芸指導を行っています。しかしながら、生活様式の変化などにより陶磁離れが進み、入館者数が減少する中で、入館者数の増加を目指した取組や周辺施設との連携の強化が課題となっています。
- また、平成25年6月から、我が国有数の陶磁専門施設にふさわしい名称として、「愛知県陶磁美術館」に変更し、施設のより一層の活性化を図ります。

【施策の展開】

○ 魅力的な観覧機会の提供

古代から現代までの日本陶磁及び世界の陶磁の歴史的展開を所蔵品等によって展示するとともに、陶磁を中心として工芸部門まで裾野を広げ、様々なテーマを設けて国内外の優れた作品が鑑賞できる場を企画展によって展開します。

○ 陶芸実習、陶芸教室等の開催による学習機会の提供

陶磁文化に親しむことができるよう、テーマを設けた連続講座の開催や、利用者の希望と経験に応じた陶芸実習や陶芸の技術を習得できる陶芸教室の開催、子どものための造形プログラムの開催などを通じて、陶磁文化を学習する機会の提供に努めます。

○ 地域連携にぎわい創出事業の実施

地域連携にぎわい創出事業により、地域の活性化や文化振興を図りながら、リニモ沿線ミュージアムウィークなどの文化イベントを実施し、県民が陶磁文化に触れる機会を提供します。

○ 陶磁資料館ボランティアの活用

展示解説、作陶実演、館内の見どころガイド等を行う陶磁資料館ボランティアに対して、定期的に陶磁文化に関わる知識や作陶技術を習得できる研修等を行い、ボランティアの活動を支援するとともに、職員と一緒に陶磁資料館を盛り上げます。

⑤ 愛知県青年の家、美浜少年自然の家、旭高原少年自然の家の充実

【現状と課題】

- 愛知県青年の家、美浜少年自然の家、旭高原少年自然の家では、青少年が規律正しい共同生活を送りながら、豊かな人間性を養うことを目的とした集団宿泊研修を行っています。各施設では、その立地条件や施設の特徴を生かした運営を行い、学校や家庭では体験できない活動を提供しています。しかしながら、学校利用の低下する秋・冬期には利用者数が減少する傾向があるため、多彩で魅力的な事業や体験学習プログラムの実施により、この時期の利用促進を図ることが課題となっています。

【施策の展開】

- **施設の特性を生かした自主事業の提供**
施設の立地や設備を生かして、海や山での自然体験や親子のふれあいなどをテーマとして施設の特性を生かした自主事業を開催し、利用者の増加を図るとともに、様々な学習機会の提供に努めます。
- **地元との協働による体験学習プログラムの提供**
施設が提供する多様な体験学習プログラムを地元団体（漁業協同組合、森林組合、周辺施設）と連携・協働して企画し、提案することで、より多くの利用者の体験活動を推進します。
- **新たな利用団体の開拓**
施設には、野外活動を行う設備のほかに、研修室等が充実しています。このため、大学のゼミ合宿や企業の社員研修など、利用者のニーズに沿った研修機会を提供し、新たな利用団体を開拓します。

⑥ 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館の充実

【現状と課題】

- 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館は、国史跡貝殻山貝塚及び朝日遺跡のサイト・ミュージアムとして、この地域を代表する弥生時代の考古資料を収蔵・展示してきました。朝日遺跡の出土品は、学術的に高い評価を受けており、出土品のうち、2,028点が国の重要文化財に指定されています。
愛知県を代表する文化財を後世に正しく引き継いでいくためにも、発掘調査の成果や出土品の価値を一般にわかりやすく伝え、地域の歴史や文化に親しむための施策を行っていく必要があります。

【施策の展開】

○ 展示の充実

重要文化財を適切に保存・管理するとともに、展示の充実を図り、県民の鑑賞・学習機会の充実に努めます。

○ 学校等への学習機会の提供

発掘調査の出土品を用いた歴史学習、郷土史学習の場として資料館の活用を図り、火起こし等を通して体験・体感する学習機会を提供します。また、直接訪れることが難しい学校には、「出前博物館」により、実物資料に接する機会を提供します。

○ 体験講座等による学習機会の提供

弥生体験講座や弥生体験工房などの体験学習の実施により、いにしへの生活や技術に学び、新たな感動、興味を喚起し、楽しく歴史を学習できる機会を提供します。

○ 埋蔵文化財についての情報発信

朝日遺跡インターネット博物館のコンテンツを充実し、朝日遺跡や埋蔵文化財に関する最新の情報を広く発信します。

朝日遺跡

清須市、名古屋市西区にまたがる朝日遺跡は、弥生時代を代表する遺跡の一つです。東西 1.4km、南北 0.8km に及ぶ広大な範囲からは数多くの住居跡、墓が見つかっており、有名な佐賀県吉野ヶ里（よしのがり）遺跡にも匹敵する巨大な集落です。

美しく飾られた赤い土器、細かな装飾を施した骨角製の装飾品、特別な祭器である銅鐸などの出土品は、東海地方の弥生文化を代表する重要な遺物となっています。

6 計画の進行管理

この計画の進行を管理するため、毎年度、施策の展開方向に位置付けた主要事業の進捗状況を点検するとともに、数値目標に対する達成状況を把握し、計画の着実な推進を図ります。